

放射性セシウムの水を介した環境動態における ホットトピックスと今後の課題

日時

2018 11月29日 木
14:00 ~ 17:30

場所

TKP秋葉原カンファレンスセンター
ホール7A

東京都千代田区神田松永町4番地1
ラウンドクロス秋葉原



参加費

- ・環境水等の放射性セシウムモニタリングコンソーシアムの会員:参加費無料
- ・日環協会員のみの方々(コンソ非会員):参加費 2,000円/人
- ・省庁・自治体等の公的機関 関係者:無料(人数によってお断りする可能性があります)

*会場のスペースの関係から、環境水等の放射性セシウムモニタリングコンソーシアム、日環協会員、省庁・自治体等公的機関の関係者のみの参加と限定させていただきます。

プログラム

「趣旨説明」 保高 徹生(産業技術総合研究所 環境水等の放射性セシウムモニタリングコンソーシアム会長)

第1部 ホットトピックスと課題 14:10 ~ 16:50

◆農業用水

- 「農業用水中の放射性セシウムのモニタリングと今後の課題」 申 文浩(福島大学)
- 「農業用水を介して新規流入した放射性セシウムの水田圃場内動態」 宮津 進(農研機構 農村工学研究所)
- 「放射性セシウムに関連する最近の課題」 信濃 卓郎(農研機構 東北農業研究センター)

◆ダム・ため池

- 「ため池の水管と放射性セシウム」 久保田 富次郎(農研機構 農村工学研究所)
- 「ダム湖流入水・放流水の放射性セシウム濃度の推移と底質からの放射性セシウム溶出ポテンシャルについて」 辻 英樹(国立環境研究所)

◆森林・土壌水・生物利用可能性

- 「森林域における溶存態放射性セシウムの生成と流出」 林 誠二(国立環境研究所)
- 「郡山市の森林における雨水、土壌水中の放射性セシウムの濃度の経時的な変化」 小林政広(森林研究・整備機構 森林総合研究所)
- 「水稻におけるセシウム吸着シートを用いた土壌中可給態放射性セシウムの評価」

矢ヶ崎 泰海(福島県農業総合センター)

田上 恵子(量研機構 放射線医学研究所)

◆河川

- 「事故から数年後の河川における放射性セシウム濃度変動」 中西貴宏(日本原子力研究開発機構)
- 「福島河川の形態別の放射性セシウム濃度の測定-福島県環境創造センターにおける取組紹介-」 谷口 圭輔(福島県環境創造センター)

「粒度補正Kdについて」 恩田 裕一(筑波大学)

◆全体 「日環協・RADI研の活動について」 上東 浩((一社)日本環境測定分析協会 放射能測定分析技術研究会)

第2部 国際動向 17:00 ~ 17:15

- 「IAEA ALMERAの動向について」 辻 英樹(国立環境研究所)
- 「IAEA online education material "Water and sediment sampling method"へのご協力をお願い」 恩田 裕一(筑波大学)

参加申込

- ・日環協会員の方々(コンソーシアム会員である方々もこちらからお申し込みください)
https://www.jemca.or.jp/analysis_top/radi_info/
- ・環境水等の放射性セシウムモニタリングコンソーシアム会員の方々
(日環協会員でもある方々は、日環協 HP からお申し込みください)
cs-water-ml@aist.go.jp

主催

産業技術総合研究所コンソーシアム「環境水等の放射性セシウムモニタリングコンソーシアム」
(一社)日本環境測定分析協会 放射能測定分析技術研究会(RADI研)
科研費「バックキャスト法による放射性物質汚染に対するモニタリング・対策の戦略研究(代表:林誠二16H01791)」

締切
11/20